

2026年10月1日

公益財団法人日本バドミントン協会

株式会社Qonceptとパートナーシップ契約締結のお知らせ ー「ジャッジシステムパートナー」として国内大会へのジャッジシステム普及を推進ー



公益財団法人日本バドミントン協会（会長：村井満、Badminton Association of Japan、以下「BAJ」）は、株式会社 Qoncept（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長兼 CEO：林 建一）と「ジャッジシステムパートナー」としてパートナーシップ契約を締結しましたので、お知らせいたします。

BAJ と同社は 2025 年度、バドミントン競技に適したジャッジ環境の実現に向けて共同での開発に取り組み、同社が開発・提供するスポーツ向けリプレイ・ビデオ判定システム「REFLEX」を、「第 79 回全日本総合バドミントン選手権大会」および「バドミントンS/Jリーグ 2025 TOP4 Tournament」において導入しました。両大会では、ライン判定などの重要な場面を即座にリプレイすることで、判定の公平性と、選手・観客双方の納得感の向上に寄与しています。

BAJ は、スポーツを通じて「こころが躍る・豊かな」世界を創ることを目指し、「健やか（心身の健康／ウェルビーイング）」「育む（豊かな人間性）」「つなぐ（多様性の受容／分断からの脱却）」をキーワードに、トップアスリートの強化から、ジュニア世代の育成、老若男女幅広い方々へのバドミントンの普及などに取り組んでいます。

本パートナーシップにおいて両者は、国内大会へのジャッジシステムの普及を目指してまいります。まずは「バドミントンS/Jリーグ 2026-27」の一部大会および「第 80 回全日本総合バドミントン選手権大会」への導入を予定しています。公平で透明性の高いジャッジ環境を整えることは、選手が実力を存分に発揮できる舞台づくりであると同時に、会場やスクリーンを通じて観戦する皆さまに、より安心して試合を楽しんでいただくことにもつながります。

さらに両者は、今後の共同開発を通じて判定の自動化に向けた取り組みを進め、将来的には競技現場が抱える審判員不足の課題解決にもつなげていきます。技術の力で大会運営を支えることで、より多くの大会で質の高いジャッジを実現し、バドミントンの競技価値の向上に努めてまいります。

■リプレイ・ビデオ判定システム「REFLEX」について

サービスサイト：<https://reflex-play.com/>

■株式会社 Qconcept について

Qconcept は、画像処理とトラッキング技術に特化した東京のスタートアップ企業です。
機械学習を用いた技術や、3次元位置・姿勢推定技術などの独自技術は、様々な国際競技大会のデータ計測に使用されています。

URL : <https://qconcept.co.jp/>

法人名：株式会社 Qconcept (Qconcept, Inc.)

所在地：〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2 丁目 19 番 15 号 宮益坂ビルディング 301

設立：2008 年 7 月 8 日

代表：代表取締役社長兼 CTO 林 建一

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

公益財団法人日本バドミントン協会
広報渉外室 広報・ファン戦略チーム
mail : press@badminton.or.jp